

市有財産（施設）運用管理マスタープラン改定案パブリックコメントに提出された意見
意見①

1. スポーツ施設再編方針について 根ノ上高原体育館

本体育館について統合・複合化とあるが何をさして言うのか甚だ疑問。本体育館の使用頻度は過去には中京学院レスリング部夏合宿、学校法人恵峰学園お泊り保育の時の集会等に使用している。夏季市内の日中の気温が30度を超えている中、本体育館では28度ほどの大変過ごしやすい体育館。最近の使用頻度が少なくなったのは入館までの環境が整備されていない。文化スポーツ部には車両が入りやすくするための整備ほか環境面の充実を依頼しているが一向に考えが出てこない。

取り壊しを含めてマイナス予算とは何か。ご教示を願いたい。

2. 本件の評価委員会：委員8名中建設関係者が3名も入っていることは問題ではないか。本意図を同じくご教示願いたい。

併せて現地を見てきているのかご回答を願いたい。現地を見ればあのあれた泥道ではどの委員も必要ないと答えは出てくるが如何なものか。本来ならば公募委員を入れ建設関係は除外ではないか。

3. 管理運営について (39頁)

市民交流プラザ（新図書館）では民間事業者の活力を導入すべきで指定管理運専門業者は排除すべきと考えるが。方針もご教示願いたい。

指定管理者選定委員については書面・ヒアリングのみの審査だけで無く実際の運営の状況はどうなのか現場での意見も取り入れてほしい。

意見②

中津川市市有財産(施設)運用管理マスタープラン改定案 P31 に「用途廃止施設は、原則として民間へ売却することとし、売却の可能性がない場合は取壊す。」とありますが、売却はネット公開されるのでしょうか？

意見③

20年近く、蛭川の田原の元幼稚園跡、4月まで中津美術家協会が利用していた学校で絵を学んでいました。昨年の4月に閉校されました。消防団の詰所をつくるということでした。昭和初期の木造の古い学校です。遺産になるような建物です。蛭川にはこの様な建物はないと思に残すことができないかと参加しましたが、施設の名すら載ってなくて、ゴミ扱いの様に思い発言を控えて帰ってきました。絵を描いたり、展覧会をしたり、文化的な発展ができるためには市の後押しがなければいけないと思います。

意見④

改定(案)を拝読しました。計画改定の趣旨通り必要なことですが、三点ほど更にご検討いただきたい部分があります。

にぎわいプラザ廃止、複合施設市民交流プラザ(仮称)への一部集約について

複合施設は新町に計画されているため、にぎわいプラザにある観光案内所は集約に向かない。市民対象ではなく観光客を対象としたものなので、駅前等わかりやすい立地でなくては用をなさないと思われます。また、にぎわい特産館は今後どうなるのか読み取れません。駅前にお土産売場が無い観光地は少ないので、観光案内所とともに誰を対象とするか考えて計画していただきたいですね。

子ども科学館の統合・複合化について

科学館と鉱物博物館の集約を検討と記されていますが、科学館は子どもを対象としている施設なので、鉱物博物館の立地では、子どもの利用が難しいと思います。子ども科学館が必要と考えるなら、複合施設市民交流プラザ(仮称)に混ぜた方が良いのでは…。複合施設には「学びの機能」を持たせるようです。検討の結果、存続する価値がないということなら、無理に鉱物博物館に集約して残すより廃止されてはいかがでしょう。

阿木郷土資料館、福岡郷土資料館の用途廃止について

資料は何処に保管するのか。現有の文化財だけでなく今後更に歴史的資料が提供されることも考えて、保管場所の検討が必要です。苗木地区にある大正期に建てられた遠山家が老朽化しています。城下町の面影を保つ数少ない建物なので、市で買い取って文化財の保管場所にしてはいかがでしょうか。苗木城だけ賑わっているもので、城への道中も考えていただければ有難いです。

意見⑤

にぎわい特産館を現在の場所、駅前から移転させないでいただきたいと思います。30分は無料の駐車場に車を置いて、様々なメーカーの和菓子等土産物を選んだり、お手頃価格の野菜を購入したりすることのできる、観光客にも地元の生活者にも有用な施設です。建物自体はレトロ感があり、街並みに溶け込んでます。

中津川は風光明媚、山、水、空の美しい空気、さわやかな歴史ある素晴らしい市です。たくさんの方々に来ていただき知ってほしい市です。観光にもさらに力を入れていただきたい。リニアにお金をかけるのではなく。

意見⑥

中津川市の財政状況が緊迫していることは良くわかります。

しかし税金を払いその地域で生活している者の立場で考えているのかということ強く思います。簡単に決めているとは決して思いません。合併によって多くの施設が市の財産になることは分かっていたこと。コンパクトにするということがどれだけ地域住民に不安で不自由な思いをさせていくことなのか考えてほしい。

日に日に町は衰退化しています。財政を理由に縮小化、廃止をしていくことが益々若者の住めない町にしていくのかを考えているのでしょうか？

年寄りに近い将来いなくなります。でも、これからの若者たちがこの町に住みついてこの町を背負っていきこうと思える街にしていくために行政は考えるべきではないのでしょうか？年寄り、若者を大切にしない行政に怒りすら覚えます。

坂下住民の多くは合併がまちがっていたといっています。周辺地域が不自由になるようなマスタープランに反対です！

意見⑦

1. 地域移譲・民間移譲について、基本的には反対です。

① 平成 27 年に総合計画を立てていました。1.人々がかがやくまち中津川 2.安らぐ自然に包まれたまち中津川 3.活気にあふれるまち中津川。当時 157 施設を民間・地域移譲、廃止でした。恵北で 4 億円の削減の計画でした。

今回の、市有財産（施設）運用管理マスタープラン「以下、プラン」の計画は、結果市の予算 6 億円を削減すること、地域施設がなくなることは、高齢者を含む地域住民の交流の場がなくなること、付知に於いても 5522 人と人口減少。地域移譲しても維持管理費用が、いくら[自助・共助]と言っても区・町民の負担増でしかない、地方自治体の本意は「…地域福祉増進…」だが、無視されている。結局は、リニアか？とってしまうが 前記 3 項はどこを目指しているのか中津川市とは恵北を含む中津川市ではないのか。地域は一層過疎化になってしまう。

② 用途廃止は、“市民目線”というならもう少しその地域住民の意見を聞きながら納得いくものにしなければならないと思う。

③ 民間移譲は、大きなリスクを伴うと思う。一、サービスの安定性・持続性のリスクが 二、サービス・財務内容の不透明性とチェック機能がなくなる。三、社会的コストが発生する 四、財政コストの増加が 五、公共性がさらに腐敗するのではと考える。

④ プラン等、中津川市ホームページを開いて「意見」となると、パソコンの所有者しか見ることができない、広報などで幅広く知らせるべきではないでしょうか。

2. 特に付知を中心に

- ① 過疎対策と合わせて、公共施設は残すべきではないか。
- ② 一般的に、民間移譲中の施設が黒字経営があります。ここまで移譲が必要ですか
- ③ 防災の立場から、消防団詰所の統合はやるべきではない。統合が新たな施設の増築にもなりかねない。同時に、団員の皆さんが、急変が起きた場合の集合時間の問題等を考えるべきではないか。この点では旧市内と、他地域との整合性を考えるべきではないでしょうか。(付知の場合が11か所5か所にする)。
同時に防災倉庫とは・町内会に設置されている防災倉庫のことですか？であるなら備品と食材を増やし配布をすべきではないでしょうか
- ④ 付知総合事務所と公民館は、維持保全ですが、付知川より低い地形、断層の中心にあてはまる、今後、考慮が必要ではないでしょうか。
- ⑤ 集会所では、1区は、町内会は2つになりました、1項の趣旨のよう、こここそ残すべきではないか。キャンプ場も同じです。
- ⑥ 医師・看護師住宅、用途廃止は坂下病院の縮小から来ているものと考えますが、他市町村からの医師・看護師は受け入れられないのか、これでは一層の医療体制はだめになると考えます。
- ⑦ 中津川市は、消滅可能都市（増本レポート）と言われて久しい、「リニア頼み」で、本当に1項でかかげた立場を考慮して頂き、小さくても輝く中津川市を目指すことを期待します。

意見⑧

にぎわいプラザコミュニティオフィスに入居している団体です。
当団体は、生の優れた舞台芸術を鑑賞しながら、子どもたちの豊かな感性を育んでいこうという非営利の文化団体です。
私たちは、子育て世代の親と子どもたちの育ち合う居場所として、地域で繋がって活動しています。今後も引き続き、親子でつどう場所として、中心地街で活動していきたいと考えていますが、老朽化は仕方ないとしても、次の事務所移転先を探す相談に乗ってほしいと思っています。
今後も引き続き、子育て団体として市民の親子の皆さんに向けたイベントを企画していきますので、にぎわいプラザが廃止後も、現状のコミュニティオフィス入居と同条件を叶えられるような場所があると良いと考えています。
今後ともよろしく願いいたします。